

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	15HP2005	事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
編集・査読体制の国際化およびジャーナルプロモーション強化を基軸とした国際情報発信強化		日本生理人類学会	会長 安河内 朗
学術刊行物の名称			(略称)
Journal of Physiological Anthropology			JPA

【平成 29 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>この分野自体の認知度が低いこと、並びに取り扱う研究者数が少ないことが推測されるが、欧米を代表する人類学系雑誌とかわらないインパクトファクターを有していることは評価できる。</p> <p>この分野自体の広報も重要であり、その努力も認められるが、十分な成果はまだ出ていないように思われる。</p> <p>ただ、現段階で、インパクトファクターが低値で増減を繰り返していることは、極めて重要な問題であり、十分な分析とともに、さらなる対応策を講じるべきであろう。</p> <p>なお、経費支出については、特に問題ない。</p>	